単元名：

「町人の文化と新しい学問」

(全5時間扱い中 第3時)

授業日時 2021年10月15日(金)第2校時

授業学級 6年西組

授業会場 6年西組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる/できるようになる。

社会が安定していくにつれて、町人文化が栄えてきたことを学習した子どもたちが、蘭学が日本に与えた影響について考える場面で、新しい学問「蘭学」が幕府や人々にどんな影響を与えたのか考える活動を通して、蘭学の発展が当時の人々にどんな影響を与えたのか理解することができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 蘭学とは何か考える	<p>「外国の学問のことじゃない。」</p> <p>「『蘭』はオランダのことだと思う。」</p> <p>「誰か蘭学を広めた人がいるんじゃないかな？」</p> <p>「西洋は日本よりも学問が発展しているから学ぶことが多かったと思うよ。だから学びたい人が多かったんじゃないかな。」</p> <p>「日本は鎖国をしているから遅れているよね。」</p>	<p>「前回みんなは、歌舞伎や浮世絵などの日本で生まれた江戸の町人文化を学んでいたよね。」</p> <p>「今回はそれとは少し違って、海外から入ってきた文化、蘭学について考えてみよう。ところで蘭学って何だろう。この『蘭』って何？」</p> <p>「そうだね、『蘭学』はオランダから伝えられた西洋の学問のことだね。蘭学は江戸時代の中ごろに、どんどん広まっていったのだけど、どうして蘭学は広まっていったのだろう。」</p> <p>「広まっていった蘭学は日本の人々にどんな影響を与えたのかな？」</p> <p>・学習問題を提示する。</p>	10分
	2. 杉田玄白がどのように医学を発展させていったのかを学ぶ	<p>「具体的にどんな影響があったのかは分からないけど、きっと何か良い影響があったのだろうな。」</p> <p>「確かに、蘭学が広まる過程を知れば、どんな影響を与えたのかがわかりそう。」</p>	<p>【学習問題】</p> <p>蘭学は人々にどんな影響を与えたのだろう</p> <p>「自分なりに予想して、ノートに書いてみよう。」</p> <p>・数人の児童に発表してもらい、板書する。</p> <p>「なにか良い影響があると思う人が増えたから、蘭学が広まったはずだね。具体的に蘭学が広まっていく過程を見ていけば、どんな影響があったのかわかりそうかな。」</p>	15分

【学習課題】 蘭学が広まる過程を基にして考えると分かりそうだ

	<p>「この解剖図間違っているよ。背骨と心臓がつながってる。」</p> <p>「想像して書いたのかな。実際に人間の身体の中を見たことない人が描いたんじゃない。」</p> <p>「昔の人はこれをおかしいって思わなかったのかな。」</p> <p>「この解剖図はおかしいけれど、日本の医学は遅れているからこっちが日本で使われていた方だと思う。」</p> <p>「僕もそう思う。漢字がたくさん書いてあるし、中国から伝わったんじゃない？」</p> <p>「本で読んだことあるよ、杉田玄白でしょ。」</p> <p>「お医者さんで、人体の解剖をした人じゃなかったっけ。」</p> <p>「違うよ、医学書を翻訳したんだよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国から伝わった解剖図とオランダから伝わった解剖図を並べてテレビにうつす 「これはどちらも人間の解剖図なんだけど、随分違うよね。当時日本で使われていたのはどっちだと思う？」 「そう、当時の日本ではこの解剖図が使われていたんだ。こちらはオランダのある医学書に載っている解剖図なんだけど、この医学書に携わった人物を知っている人はいるかな？」 ・杉田玄白の画像をテレビにうつす 「そうだね、杉田玄白だね。」 「杉田玄白とはどんな人物で何をしたのかな？」 ・資料1を配る ・杉田玄白に関するクイズをテレビに映し出す 	
<p>クイズの内容①杉田玄白の出身地は？②杉田玄白が翻訳の苦労をつづった本の題名は？③翻訳したオランダ語の解剖書の名前は？④翻訳後の題名は？⑤「解体新書」が完成したのは、翻訳を始めてから何年後？⑥「解体新書」の出版によってどんな影響があった？（複数回答）</p>			
	<p>「杉田玄白が『解体新書』を出版したことが蘭学が広まっていったんだ。」</p> <p>「玄白のように蘭学を学ぼうと思っんじゃないかな。」</p> <p>「医学以外の分野の人たちも蘭学を学んで学問を発展させたいよね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちはクイズの答えを資料1から探し出す。 ・子どもたちから出てきたクイズの答えを板書し、杉田玄白がどんな人物か一目で分かるようにしておく 「『解体新書』のおかげで日本の医学は発展していったんだね。医学が発展して人々はどう思ったのかな。」 「医学の発展は蘭学を学ぼうとする人が増えるきっかけになったかもしれないね。こうして蘭学が広まると日本にどんな影響があるのかな。」 	

展開	<p>3. 蘭学の広がりや日本に与えた影響を考える</p>	<p>「日本の学問が発展すると思う。」 「もっと外国の学問を学びたいと思うから、鎖国に反対する人が出てくる。」 「私もそう思う。開国を求める人が増えると思う。」 「幕府は鎖国を続けるために蘭学を禁止にしようとするんじゃないかな。」 「様々な技術が進歩して、生活が豊かになっていくと思う。」 「蘭学だけでは足りなくなってくるんじゃない。もっと発展している国から学問を学ぶ必要が出てくると思う。」</p>	<p>・資料2（開国論を唱えた人や蛮社の獄に関する資料）を配る ・「蘭学が発展していくと…」に続く内容を考えてノートに書く。 ・数人に発表してもらい、板書する 「開国を求める人が増えると幕府はどう思うかな。」 「どうして日本は鎖国していたんだっけ。」 「さらに生活を豊かにしていくためには何が必要かな。」</p>	15分
終末	<p>4. 振り返り</p>	<p>「私は、蘭学が広まっていけば学問が発展して良い影響ばかりだと思っていたけれど、幕府の立場から考えると蘭学が広まることはあまり嬉しいことではないと思った。」 「蘭学が発展したことが、世界に目を向けるきっかけになったのだと思った。他に外国の学問にはどのようなものがあるのか気になった。」 「蘭学が発展したことによって、もっと外国の学問を学びたいと思う人が増えて、開国を唱える人がでてきたことが分かった。鎖国をしていた幕府がその後開国をするのかどうか気になった。」</p>	<p>「様々な立場から、蘭学の実展による影響を考えることができたね。今日の授業で分かったことや考えたことを Google フォームに書きましよう。」</p> <div data-bbox="890 1160 1428 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時の評価（評価する対象）】 蘭学の実展が当時の人々にどんな影響を与えたのか理解することができる。 （Google フォーム）</p> </div>	5分